



組合消防マスコットマーク
“りゅうしんくん”

広域消防 おおず

第
107
号

2020.1

構成市町
大洲市
内子町



令和元年度
最優秀賞
防火ポスター

大洲市立大洲小学校 6年長田みゆうさんの作品

※防火ポスター入賞者については、2面をご覧ください。

組合管内各小学校へ防火ポスターを募集したところ、127作品の応募があり審査の結果、表紙の作品が最優秀賞を獲得しました。

大洲地区広域消防事務組合
ホームページから申請・
届出の様式をダウンロード
できます。

<http://ozu119.jp/>

★防火ポスター入賞作品決定★

審査の結果、次の皆さんが入賞されました。
入賞作品は、当組合ホームページにも掲載しています。

【最優秀賞】 1名

大洲小学校 6年 長田みゆう

※作品は表紙に掲載しています。

【優秀賞】 5名

大洲小学校 6年 福住遙栞



新谷小学校 3年 宮岡智子



肱川小学校 4年 金野結羽迦



内子小学校 3年 福岡眞子



石畳小学校 2年 山田夕依



緊急消防援助隊救助小隊訓練実施

令和元年11月6日大洲市徳森にある、旧喜多医師会病院の建物を借用し、緊急消防援助隊救助小隊の訓練を実施しました。

緊急消防援助隊とは、大規模災害や特殊災害が発生したとき、被災地の消防機関だけでは、災害対応が困難な場合、被災地からの要請を受け各都道府県から応援出動する消防の応援部隊のことです。当組



倒壊建物を想定した救助現場での活動の様子



指揮隊運用の様子

合でも、救急部隊、消防部隊、救助部隊を編成し登録しています。
今回は救助部隊として指名している隊員に対して、各種想定を付与した訓練を行いました。
主に、「高所からの救出」と「地震による倒壊建物からの救出」を主眼に置いた想定訓練を実施し、救助活動技術のスキル向上を図りました。
近年、大規模災害が毎年のように全国各地で発生しており、緊急消防援助隊の派遣実績が増え続けています。今後も大規模災害への派遣を見据えた訓練を継続的に実施し、緊急消防援助隊出動時のみならず、管轄地域での災害救助活動にも万全を期すことができれば、あらゆる災害を想定した訓練に励みたいと思っています。

愛媛県消防長会 消防職員意見発表会



大洲消防署 川上支署勤務
消防士 大藤慎也

9月6日、消防本部会議室において、消防職員意見発表会を開催し、当組合の若手職員6名が業務に対する提言や取り組みなどを課題にして自由に発表を行いました。審査の結果、「避難スイッチ オン」の演題で発表した大洲消防署川上支署の大藤慎也消防士が最優秀賞に選ばれました。大藤消防士は、11月15日に大洲市東大洲のリジエール大洲で開催された愛媛県消防長会消防職員意見発表会に、当組合の代表として出場し、県下各消防本部から選ばされた消防職員と共に制限時間5分で意見発表を行い、内容と発表力を審査された結果、優秀賞を受賞しました。

消防職員意見発表会

令和元年度 新規採用職員紹介

本年度採用の2人は、松山市勝岡町の愛媛県消防学校での約半年間の初任教育研修を修了し、大洲消防署本署に配属され、日夜業務に励んでいます。フレッシュユナ2人に今後の抱負を述べてもらいました。



消防士 木元 快

それらの経験を
通じ消防士とし
て成長していけ
るよう、向上心
を持って、日々
取り組んでいき
たいと考えてい
ます。



消防士 三原 朋也

日も早く先輩方
の知識、技術に
追いつき、災害
現場で活躍でき
るようになりた
いと思います。

半年間の初任教育を終え、大洲消防署本署勤務となりました。これからは、市民の方々から信頼を得られるよう、日々の訓練に精進していきたいと思っています。そして、一日も早く先輩方の知識、技術に追いつき、災害現場で活躍できるようにしたいと思います。

消防士になることは小さいころからの夢でした。生まれ育った大洲で消防士として勤務できることをうれしく思っています。これから様々な経験をするようになると思いますが、それらの経験を通じ消防士として成長していけるよう、向上心を持って、日々取り組んでいきたいと考えています。

シリーズ わが町の消防団！ No.49

【地域での消防団活動】

大洲市消防団 平野分団
分団長 松本喜吉

大洲市消防団平野分団は、3部で構成され、団員71名(内、機能別消防団員5名)で活動を行っています。平野分団の主な活動は、地域の災害出動をはじめ、毎月の機材点検や訓練の他、地域での行事へも積極的に参加し活動しています。

近年は、火災は減少傾向にあるものの、台風等の自然災害や行方不明者捜索等の活動が増えています。昨年の西日本豪雨の際には、山の崩落等により、一時的に孤立地区が発生し対応に苦慮したことから、今後迅速に自然災害に対応できる団員の育成が重要であると実感しました。

最後に、地域の皆様方には消防団活動に對しまして、ご指導ご協力いただき誠にありがとうございます。今後とも地域の自主防災組織や消防署との連携を深め、団員相互の協力を密にし「安心・安全」な地域を作れるよう、団員とともに予防消防に尽力してまいります。



小型ポンプ操法整列の様子

※右上写真：水害時の活動状況

大洲地区広域消防事務組合の人事行政の運営等の状況

大洲地区広域消防事務組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例（平成17年条例第15号）に基づき、平成30年度の人事行政の運営等の状況を公表します。

(4) 級別職員数の状況 (H31. 4. 1)

区分	標準的な職務内容	職員数 (人)	構 成 比
1級	主事	33	32.0%
2級	主事	11	10.7%
3級	係長、主査	26	25.2%
4級	専門員	7(1)	6.8% (100.0%)
5級	課長補佐、支署長、 副主幹	11	10.7%
6級	次長、署長、課長、 副署長、主幹	14	13.6%
7級	消防長	1	1.0%
合 計		103(1)	100.0% (100.0%)

※（ ）内は、再任用短時間勤務職員について外書き

(5) 職員手当の状況

区分	内 容	国の制度 との異同	国の制度と 異なる内容
扶養 手当	配偶者 6,500円 扶養親族 6,500円 (子の場合 10,000円) 配偶者のない職員の扶養親 族1人目6,500円(子の場合 10,000円)。一定の年齢の 扶養親族1人につき5,000 円を加算。	同	—
住居 手当	借家居住者…家賃と12,000 円の差額が11,000円に達す るまでその差額を支給 (支給限度額27,000円)	同	—
通勤 手当	通勤距離片道2km以上 交通機関利用・普通運賃相当額 交通用具利用 2km以上 …… 2,000円 5km以上 …… 4,200円 10km以上 …… 7,100円 15km以上 …… 10,000円 20km以上 …… 12,900円 25km以上 …… 15,800円 ～ 31,600円	同	—
期末 手当	支給割合 (30年度) 期末手当 2.60(1.45)月分 勤勉手当 1.85(0.90)月分 役職加算 5～15%	異	役職加算 5～20% 管理職加算 10～25%
勤勉 手当	1人当たりの平均支給額 (30年度) 1,328千円		

※（ ）内は、再任用職員に係る支給割合である。

1 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 職員の採用・退職等の状況 (H30. 4. 2～H31. 4. 1) (人)

H31. 4. 1現在 現 有 数	退 職				採用	再任用
	定年退職	勲奨退職	その他	計		
103(1)	0	0	4	4	2	0(1)

※（ ）内は、再任用短時間勤務職員について外書き

(2) 年齢別職員構成の状況 (H31. 4. 1) (人)

区 分	18～20歳	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	計
職員数	8	18	11	10	7	
区 分	41～45歳	46～50歳	51～55歳	56～59歳	60歳以上	計
職員数	16	8	11	14	0(1)	

※（ ）内は、再任用短時間勤務職員について外書き

(3) 階級別勤続年数の状況 (H31. 4. 1) (人)

階 級	5年未満	5～14年	15～24年	25～34年	35年以上	計
消 防 監					1	1
消防司令長					5	5
消防司令				4	10	14
消防司令補			14	14	3(1)	31(1)
消防士長		8	4	1		13
消防副士長		9		1		10
消 防 士	23	6				29
計	23	23	18	20	19(1)	103(1)

※（ ）内は、再任用短時間勤務職員について外書き

2 職員の給与の状況

(1) 人件費の状況 (普通会計決算)

区 分	歳出額A (千円)	実質収支 (千円)	人件費B (千円)	人件費率 B/A	平成29年 度の人件 費 率
平 成 30年度	1,126,307	32,510	787,728	69.9%	75.5%

※人件費には、特別職に支給される報酬等を除きます。

(2) 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況

H31. 4. 1

区 分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
組 合	280,898円	353,529円	38.3歳
国	329,433円	411,123円	43.4歳

(3) 職員の初任給の状況 (H31. 4. 1)

区 分	組 合	国
大 学 卒	180,700円	180,700円
高 校 卒	148,600円	148,600円

通達の発出や各種研修を実施し、職員の服務規律の遵守に務めている。

(2) 休暇の取得状況

区分	職員数	特別休暇	病欠休暇	年次有給休暇	年次有給休暇の平均取得日数
	(人)	(日)	(日)	(日)	(日)
毎日勤務者	13	49	50	96	7.4
隔日勤務者	91	292	185	772	8.5
合計	104	341	235	868	8.3

6 職員の研修及び勤務成績の評定の状況

(1) 研修の実施状況

区分	研修内容	研修期間(日)	受講者(人)
消防大学校	専科教育(火災調査科)	50	1
消防学校	初任教育	118	5
	専科教育(救助科、救急科、予防査察科等)	10~38	9
先進地消防本部研修	予防業務実務研修(松山市消防局)	34	1
救急救命研修	救急救命士養成課程	126	1
	指導救命士養成研修	30	1
	救急救命士処置拡大追加講習	5	5
	救急救命士気管挿管病院実習	30症例	1
愛媛県研修所	専門研修	2	2
自主研修	接遇・礼節に係る実務研修	-	31
	人権同和教育研修	-	76
	道路交通法令講習	-	87
	安全運転技能研修	-	47
	人事評価研修	-	98
	コミュニケーション・ハラスメント研修	-	88

(2) 勤務成績の評定の状況

昇任試験を定期的実施しており、試験の結果と併せて、職員の勤務実績や能力を評価し、昇任、昇格、人事異動に反映させている。

7 職員の福祉及び利益の保護の状況

(1) 健康診断等の受診状況

	(人)
一般定期健康診断受診者	129
人間ドック受診者	53
H B s 抗体検査受診者	10

※ 隔日勤務者は、人間ドックを含め年2回の健康診断を実施している。

(2) 公務災害・通勤災害の認定状況

区分	認定件数	災害の概要
公務災害	0件	-
通勤災害	0件	-

(3) 福利厚生制度に係る負担

区分	負担額
愛媛県市町村職員共済組合	123,445千円
愛媛県市町村職員互助会	692千円

3 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1) 勤務時間の状況

勤務種別	1日の勤務	休憩時間	週休日
毎日勤務	8時30分～17時15分	60分	土・日曜日
隔日勤務	8時30分～翌日の8時30分	60分 2回	4週を通じて8日

(2) 主な特別休暇など

種類	休暇の概要、取得の要件など	
有給休暇	年次有給休暇	1年につき20日(前年の繰越日数の上限20日のため、最高40日)
	病欠休暇	負傷または疾病のため、医師の診断により治療する必要がある場合
無給休暇	特別休暇	主な休暇～公民権の行使、産前休暇、産後休暇、忌引、結婚休暇、夏季休暇、短期介護休暇など
	介護休暇	負傷、疾病または老齢により、2週間以上にわたり日常生活を営むのに支障がある者の介護をする場合

4 職員の分限及び懲戒処分の状況

(1) 分限処分者数

処分事由	処分の種類	処分の種類			
		降任	免職	休職	降給
勤務実績が良くない場合	地公法第28条第1項第1号				
心身の故障の場合	地公法第28条第1項第2号第2項第1号				
必要な確性を欠く場合	地公法第28条第1項第3号				
職制・定数の改廃予算の減少により廃職・過員を生じた場合	地公法第28条第1項第4号				
刑事事件に関し起訴された場合	地公法第28条第2項第2号				

(2) 懲戒処分者数

処分事由	処分の種類	処分の種類			
		戒告	減給	停職	免職
法令に違反した場合	地公法第29条第1項第1号				
職務上の義務に違反し、または職務を怠った場合	地公法第29条第1項第2号				
全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあった場合	地公法第29条第1項第3号				

5 職員の服務の状況

(1) 服務規律の遵守に関する取組みの状況



リスクウオッチの様子

子どもたちへの
防火・防災教育

11月28日、内子町消防団女性部が五十崎幼稚園を訪問し、リスクウオッチを開催しました。
この活動は、子どもたちに火災や地震時の対応を身につけてもらうことを目的としています。今年で6年目を迎え、女性部は人気キャラクターやヒーローなどに扮して、園児と一緒に体を動かしながら楽しく防火・防災教育を行いました。皆さんのご家庭でも火災や地震が発生した時にどのように対応したらよいか、ご家族で話し合っておきましょう。

組合管内出初式のお知らせ

■内子町 2月16日(日)
午前10時30分開式
五十崎自治センター
共生館ホール

■大洲市 3月1日(日)
午前9時30分開式
五郎大橋上流河川敷グラウンド
(荒天時：午前10時30分開式)
大洲市民会館



11月3日

大洲おまつり村において、防災フェアを開催し、消防車両や装備品の展示、ちびっ子による放水体験等を行いました。



10月26日

寺村自治会館において、寺村一斉自主防災訓練が行われ応急手当や搬送法、初期消火訓練、炊き出し訓練などが行われました。



11月11日~15日

大洲北中学校の中岡謙心君と城戸友大君が大洲消防署において、職場体験学習を行いました。



11月10日

八幡浜・大洲地区総合運動公園において、大洲市消防団幹部による訓練礼式・小隊訓練等を行いました。

カメラ
レポート



救急病院案内 (0893) 24-7000

曜日	病院名	電話番号
月・火	市立大洲病院	(0893)24-2151
水	加戸病院	(0893)44-5500
木	昼間 大洲記念病院 (08:30~17:30)	(0893)25-2022
	夜間 市立八幡浜総合病院 (17:30~08:30)	(0894)22-3211
金・土	大洲中央病院	(0893)24-4551
日	昼間 大洲中央病院 (08:30~18:00)	(0893)24-4551
	夜間 市立八幡浜総合病院 (17:30~08:30)	(0894)22-3211

※当直病院の交替(木・日曜日の昼間と夜間の交替以外)は、担当曜日最後の翌朝8時30分です。

大洲喜多休日夜間急患センター

診療科目	「内科」 初期救急
診療時間	平日・土曜 午後8時~午後11時 日曜・祝日 午前9時~午後6時 日曜(夜間) 午後8時~午後11時
電話番号	(0893) 23-1156

令和2年1月発行 発行・編集 大洲地区広域消防事務組合
〒795-0012 愛媛県大洲市大洲1034-4

代表 24-0119 大洲消防署 24-0119
総務課 24-2666 長浜支署 52-0119
予防課 24-2667 川上支署 34-2851
警防課 24-2668 内子消防署 43-0119
小田出張所 0892-52-3292

ホームページ <http://ozu119.jp/>